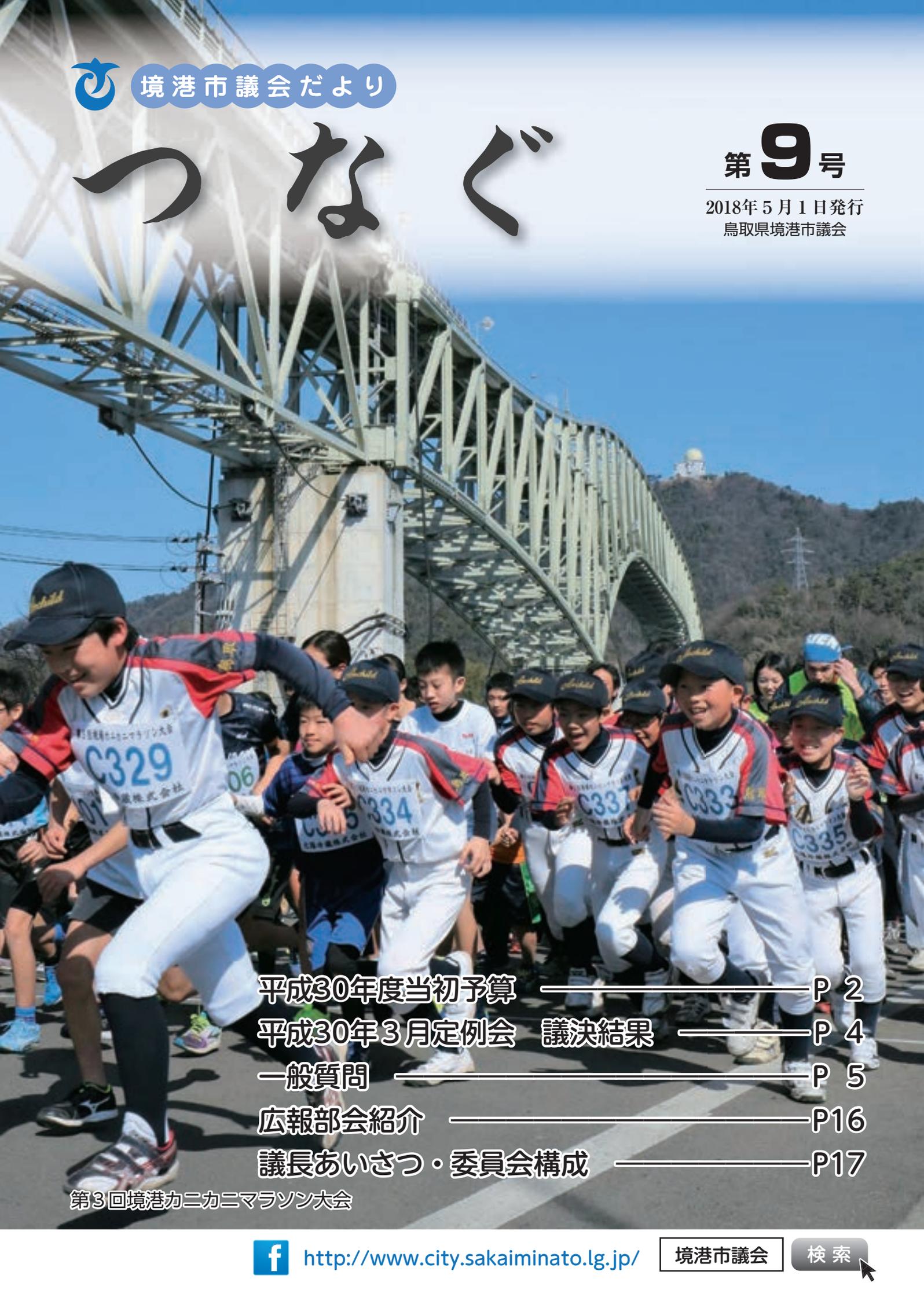


つなぐ



平成30年度当初予算	—————	P 2
平成30年3月定例会 議決結果	—————	P 4
一般質問	—————	P 5
広報部会紹介	—————	P16
議長あいさつ・委員会構成	—————	P17

第3回境港カニカニマラソン大会



平成30年度

当初予算

3月定例議会は、2月28日から3月23日までの24日間の会期で開かれ、平成29年度一般会計補正予算・特別会計補正予算、平成30年度一般会計予算・特別会計予算など予算関連16議案、人事2議案、境港市職員の退職手当に関する条例等の一部改正など条例12議案、市道の路線の廃止についてなど議決案件2議案が上程されました。審議、採決の結果、議案はすべて原案のとおり可決されました。その他、陳情5件が提出され、審議の結果、いずれも不採択となりました。
(議決結果はP 4に掲載しています。また市議会ホームページでもご覧になれます。)



©水木プロ

水木しげる記念館開館 15周年事業

アニメ展示の導入など
リニューアルを行う

2,509万円



小中学校ICT環境整備事業

視聴覚教材などを活用し、確かな学力を効果的に育成するためICT機器を導入する

2,050万円



子育て世代訪問支援事業

養育支援が必要な家庭を訪問し、家事や育児を直接的に支援する

416万円



中海護岸整備関連事業

渡漁港周辺の道路や内水排除施設、
多目的広場の整備

1億2,073万円



Jアラート受信機更新事業

Jアラート（全国瞬時警報システム）を、
処理速度が速く安定した情報伝達可能な
新型機に更新する

233万円



農地耕作条件改善事業

農地利用が低い水田などの農地を、
利用可能な畑地へ再生する

1,031万円



市民会館解体事業

5月から市民会館と図書館別館の
解体工事を実施する

3億9,587万円



市営住宅建替事業

老朽化した既存住宅の解体、
建て替えのための実施設計を行う

1,550万円

平成30年3月定例会 議決結果

◆人 事

案 件	議決結果
人権擁護委員候補者の推薦について	推薦に同意（全会一致）
監査委員の選任について	同意（全会一致）

◆議 案

案 件	議決結果
専決処分の承認を求めることについて 〔平成29年度境港市一般会計補正予算（第6号）〕	承認（全会一致）
専決処分の承認を求めることについて 〔平成29年度境港市一般会計補正予算（第7号）〕	承認（全会一致）
専決処分の承認を求めることについて 〔平成29年度境港市駐車場費特別会計補正予算（第2号）〕	承認（全会一致）
平成29年度境港市一般会計補正予算（第8号）	原案可決（全会一致）
平成29年度境港市国民健康保険費特別会計補正予算（第2号）	原案可決（全会一致）
平成29年度境港市下水道事業費特別会計補正予算（第3号）	原案可決（全会一致）
平成29年度境港市介護保険費特別会計補正予算（第4号）	原案可決（全会一致）
平成30年度境港市一般会計予算	原案可決（賛成多数）
平成30年度境港市国民健康保険費特別会計予算	原案可決（賛成多数）
平成30年度境港市駐車場費特別会計予算	原案可決（全会一致）
平成30年度境港市下水道事業費特別会計予算	原案可決（全会一致）
平成30年度境港市高齢者住宅整備資金貸付事業費特別会計予算	原案可決（全会一致）
平成30年度境港市介護保険費特別会計予算	原案可決（賛成多数）
平成30年度境港市土地区画整理費特別会計予算	原案可決（全会一致）
平成30年度境港市市場事業費特別会計予算	原案可決（全会一致）
平成30年度境港市後期高齢者医療費特別会計予算	原案可決（全会一致）
境港市職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）
境港市集落営農活性化基金条例を廃止する条例制定について	原案可決（全会一致）
境港市被災者住宅再建支援事業助成条例の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）
境港市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決（賛成多数）
境港市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）
境港市国民健康保険基金条例の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）
境港市児童クラブ条例の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）
境港市老人福祉センター条例の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）
境港市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	原案可決（賛成多数）
境港市指定居宅介護支援事業所の指定等に関する条例制定について	原案可決（全会一致）
境港市農業委員会の委員等の定数を定める条例制定について	原案可決（全会一致）
境港市公園条例の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）
市道の路線の廃止について	原案可決（全会一致）
市道の路線の認定について	原案可決（全会一致）

◆陳 情

案 件	議決結果
子どものいのちと健康を守るための設備改善に関する陳情	不採択（全会一致）
医療機関の診療録開示請求手数料に係る指針についての陳情	不採択（賛成多数）
境港市議会常任委員会・会議録等のネット放映・閲覧についての陳情	不採択（賛成多数）
国民健康保険料（税）を引き上げないように求める陳情	不採択（賛成多数）
生活保護基準引き下げ中止について国へ「意見書」提出を求める陳情	不採択（賛成多数）

このほか、報告案件が4件ありました。

市政を問う

11人が一般質問を行いました。

【一口メモ】

境港市議会では、議員個人の立場・観点で行う「各個質問」と、所属する会派を代表して行う「代表質問」（3人以上の会派のみ）があります。

議会だよりの質問ページは、質問を行った1議員につき最大1ページとしています。

しかし、上記の「各個質問」と「代表質問」では性質や質問時間が異なるため、「代表質問」では会派内でページの配分をしています。

各議員は掲載した以外にも質問していますが、議会だよりの都合上、議員本人が質問と答弁を要約しています。

ページ	質問事項		質問議員
6・7	代表質問	①平成30年度予算について ②企業における人手不足について ③市民の健康づくりについて	米村 一三
7	関連質問	①除雪対策について	平松 謙治
8	代表質問	①観光振興について ②公共交通のあり方について ③社会教育について	佐名木知信
9	各個質問	①原子力防災における安定ヨウ素剤の服用について ②核兵器廃絶、平和推進の取り組みについて	安田 共子
10	各個質問	①境港市の各種審議会委員の選出について ②女性の活用について	松本 熙
11	各個質問	①男性不妊治療について ②不育症について	浜田 佳尚
12	各個質問	①国民健康保険税の負担の軽減について ②策定が始まった「健康づくり行動計画」（仮称）について ③運転免許証の自主返納の促進について	長尾 達也
13	各個質問	①多忙教職員の負担軽減について ②障がい児者福祉について ③いじめ・不登校対策について	築谷 敏雄
14	各個質問	①災害時における要支援者の避難行動について ②第7期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の地域包括ケアシステム構築について	足田 法行
15	各個質問	①島根原発に係る状況について ②災害対策について	景山 憲
16	各個質問	①この度の豪雪の対応に見る諸課題について	田口 俊介

議事録は議会事務局やホームページで閲覧できます。

道路・側溝補修予算の拡大を望む

市長

市民の安全安心には
時機を逃さず対応する

【市長】就任以来、将来を見据えて自立持続可能な財政運営により、一定の財政健全化は、はかられたと思うが、今後多額な財政支出が見込まれ楽観はできない。

高は56億円の減、基金残高は13億円の増加となっており、公債費もピーク時と比較して、かなり減少してきている。市民生活に直結した道路整備などに予算を増額して投入しても良いのではないかと。

【市長】このような状況下でも中浜地区会館の改修、市営住宅の建て替え、狭あい道路の拡幅、夕日ヶ丘地区の防犯灯新設など、快適な市民生活の基盤整備に取り組むこととしており、今後も地域の活性化や多様化するニーズには、時機を逃さずことなく対応し、安全安心のまちづくりや都市基盤の整備を行う。

【米村】30年度予算も規律ある財政運営を柱として組まれている。財政再建に取り組む前の平成14年と比較して、市債残



会派 きょうどう
米村 一三 議員



工事中の市道（竹内町）

福祉科卒業生の地元就職促進策を

市長

関係機関と連携し
引き続き取り組む



福祉科のある境港総合技術高校

【米村】境港総合技術高校には福祉科があり、昨年38人の卒業生があった。卒業生の約半数が進学し、地元の福祉施設に就職した生徒はごく少数と思う。介護福祉士の資格取得100%と全国平均を大きく上回る同校の優秀な生徒を地元の福祉施設に就職を促すような新たな奨学金制度創設など

【市長】同校の過去3年間の就職状況を見ると、福祉科の生徒が学んだ専門分野への市内での就職者は27%、県内では61%となっている。ハローワークは介護施設などの見学会、面接会などを開催しており、本市で

も地元就職を促すために中海圏域での就職情報サイトの運営や就職フェアなどを実施することにより、若者の地元就職に取り組んでいる。【総務部長】市単独での奨学金制度は多額な費用がかかるため慎重に考えなくてはならない。

ラジオ体操普及で市民の健康増進を

市長

健康増進などに効果ある運動を啓発する

【米村】ラジオ体操は上道町出身の藤本光清氏が創案者であり、この所縁ある体操を市民に広く活用してもらい、健康増進をはかり、医療費の抑制にもつながる活動とし、体操CDの配布を行っては。

【市長】ラジオ体操は多くの国民に親しまれ手軽にできる体操として、運動会の準備運動などに使わ

れてきた。多くの市民にも大変なじみのある体操である。境港市の誇る先人の一人である藤本光清氏がラジオ体操の創案に中心的な役割を果たした。このことを市民に周知しながらラジオ体操の普及に努めたい。また、誰でも手軽



学校でのラジオ体操

に始められるウォーキングや市内の23カ所で300人もの方が自発的に取り組む「いきいき百歳体操」など、日々の健康増進や介護予防に役立つ運動、体操を総合的に周知し啓発するようにしたいが、体操CDの配布は考えていない。

今年の大雪を受けて除雪の課題は？

市長

二次除雪の入らない道への対応を検討したい

【平松】29年度の除雪体制の見直しに対する評価は。

【市長】効率化がはかられた。しかし2



会派 きょうどう 平松 謙治 議員

月の大雪では別の問題として除雪後に残雪が多くなった。

【平松】2月の大雪は最初の3日間の対応が十分でなかったため、雪害が長期化した。改善を望む。

【市長】この度の反省をふまえ、対応を検討したい。

【平松】公民館などの小型除雪機の貸し出し状況は。

【市長】小学校や公民館での利用のみで自治会などへ貸し出しはなかった。今後アンケートを行い、対応を検討したい。

また大雪の際、二次除雪の入らない道の除雪に課題が残った。住民と相談して対応を検討したい。

【平松】施政方針で大雪時においても自助・共助の取り組みを推進し除雪を自主防災組織などともに行いたいとある。実施にあたっては、担い手である人材の確保、情報の共有と集約、資機材の整備が重要である。市民とともに協働のまちづくりの一つとして取り組んでもらいたい。



上道地区除雪隊
(二次除雪の入らない道)

さかなと鬼太郎の魅力を発信する方策は

市長

一体的に情報発信し魅力をPRする

【佐名木】観光客はもちろん、地域・市民の皆さんに愛されるまちづくりを願う。持続性ある観光地として、さかなと



自民クラブ 佐名木 知信 議員



境港おさかなロード大漁祭

鬼太郎を融合させ、内外に魅力を発信する方策と取り組みをうかがう。
 【市長】民間による「おさかなロード」の整備が進められ、「大漁祭」や「中野港漁村市」など、魅力創出に取り組みられている。水木しげるロードリニューアルや周年事業など一体的に情報発信し、本市の魅力をPRしていく。

はまるーぷバスの考え方は

市長

待合用ベンチ、定期券の導入などを検討

【佐名木】はまるーぷバスなど、市民の移動手段について、課題解決に向けた施策をうかがう。
 【市長】商業施設のバス停に待合用ベンチを設置、また高齢者が利用しやすい定期券の導入を検討している。
 【佐名木】社会環境の変化や市民ニーズに応えるため、産業部門ではなく福祉・建設部門、または専門部署で対応すべきではないか。
 【市長】利用者の声を聴きながら、しっかりと機能するよう見直していきたい。

現施設の課題を新施設へどう生かすか

教育長

市民参加型の運営を目指し計画の中で検討する



(仮称) 境港市民交流センター
(ホール内のイメージ図)

【佐名木】市民会館や文化ホールの実績を検証し、今後の新施設への事業展開にどう生かしていくのか。
 【教育長】市民参加型の運営を目指し、策定中の管理運営計画の中で、市民や利用団体などの意見をうかがい検討する。
 【佐名木】市民参加で始まり市民参加で完結してもらいたい。地域の将来を担う若者や女性の声に耳を傾け、対話を重ねることにより、すべての市民に愛される施設になると考える。

安定ヨウ素剤 必要性の周知を！



日本共産党境港市議団
安田 共子 議員

市長

体制をしっかりと作り
被害を最小限にしたい

【安田】原子力災害に備えての安定ヨウ素剤事前配布の内容は。
【市長】緊急時に一時集結所での受け取りが困難で、事前配布を希望する市民に、説明会の会場で、医師などが問診を行い、安定ヨウ素剤を配布する。
【安田】放射性ヨウ素は子どもへの影響が大きい。兵庫県篠山市では、3カ月で30回の事前配布会を実施し、初年度6割以上の子どもに事前配布した。本市での目標は。



鳥取県が発行している
原子力防災ハンドブック

【防災監】目標は考えていないが、広報、周知はしっかり行いたい。
【安田】乳幼児健診時に案内もできる。必要性を知らせた上での希望者でないといけない。職員体制の強化も必要では。
【市長】事故が発生した際には、放射性物質が放出される。少しでも被害を少なくする効果が安定ヨウ素剤にある。体制をしっかりとつくと被害を最小限にとどめるため、他機関とも連携しながら努めていきたい。

非核・平和活動 さらに推進を！

市長

今後とも真摯に
取り組んでいきたい

【安田】本市は、非核都市宣言をし、さまざまな非核・平和推進活動に取り組んでいる。市長、教育長も署名した「ヒバクシャ国際署名」には、本市が加盟する平和首長会議も賛同・協力している。さらに推進が求められていると思うが、どうか。
【市長】核兵器廃絶、平和な世界の実現に向け、今後とも平和

推進活動に真摯に取り組んでいきたい。
【安田】「ヒバクシャ国際署名」をホームページで市民に呼びかけている自治体もある。署名に取り組み団体の活動を後援することも態度として示してはどうか。
【市長】依頼があった場合は、教育委員会ともよく協議をし

て適切に判断したい。
【安田】市内全校で、玉栄丸事件や空襲など市内の戦災について学習する機会を。
【教育長】玉栄丸事件について、学びやすい資料も作られている。学習内容は学校で判断するが、私からも呼びかけた



非核都市宣言
(市役所正面玄関横に掲示)

議会・行政と市民の隔たりを感じた

市長

さまざまな形で市民に参加してもらっている



無所属 松本 熙 議員

【松本】市議改選にあたって「いつ選挙があるのか」などの声を聞いた。また、市長と語る会や市民

と議会の懇談会では、女性や高校生などの参加が少ない。議会や行政と市民との間に何かしら隔たりを感じた。

【市長】協働のまちづくりを提唱し、取り組んできた。わかりやすく情報を伝え、市長と語る会やまちづくり若者委員会も開催している。さらに市民参加を促進したい。

【松本】市には44の審議会がある。委員の一部に市民の枠を

設け、行政と市民の隔たりがないことを望む。

【市長】専門性や個人情報などにより、公募になじまないものがある。それらを除けば、公募や自治会、市民団体などの推薦で参画してもらっている。パブリックコメントや市民の声提案箱で意見や提案の場の確保にも努めている。私としては、行政と市民に隔たりはないものと認識している。

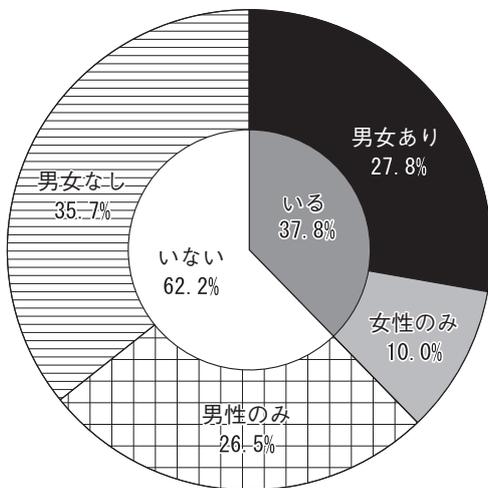


～聞かせてください あなたの声～
市民と議会の懇談会の様子

本市の女性登用の実情は

市長

男女共同参画社会の実現に向けて取り組み中



県内事業所の女性係長設置状況
37.8%の事業所は女性を設置している

【松本】国は女性の活用について「指導的な地位に占める割合を、2020年までに30%」を目標としている。地域のリーダーとして女性の比率向上を目指していくことが、男女平等社会につながると考えている。本市の公的役職で、女性登用の実情は。

【市長】本市では「境港市女と男とのいきいきプラン」を策定し、男女共同参画社会の実現に取り組んでいる。

【松本】国は女性の活用について「指導的な地位に占める割合を、2020年までに30%」を目標としている。地域のリーダーとして女性の比率向上を目指していくことが、男女平等社会につながると考えている。本市の公的役職で、女性登用の実情は。

【市長】自治会や小中学校PTAの正副会長は低いが、人権擁護委員は100%、民生児童委員は63.5%と高い率で女性に活躍いただいている。

不妊検診のPR方法を提案する

市長 さっそく行っていきたい



会派 新風
浜田 佳尚 議員

【浜田】不妊の原因の半分は男性側にもある。子どもを望む夫婦に早期に適切な治療を行ってもらうためには、男性にも

不妊検査を行ってもらうための施策が必要と考える。所見は、【市長】鳥取県では、結婚後3年以内の方で夫婦同時に不妊検査を受けた場合の助成制度を設けている。本市では、さらに県の助成に上乘せして助成を行っている。

【浜田】夫婦同時検査をすすめる取り組みは良い事だが、ホームページなどを見ても文字だけで分

かりにくい。「おしどり健診」といったネーミングをつけるなど、目につきやすく、検査に対しての抵抗感を和らげるような取り組みを提案する。所見は、【市長】助成制度についてせっかくホームページに掲載しているにもかかわらず、おしどり健診」といったPR方法は、さっそく行って



提案した『おしどり健診』
チラシイメージ

不育症 検査費助成だけでも行うべき

市長 不育症の助成制度をよく研究したい



不妊症に比べ認知度の低い不育症

【浜田】妊娠はするが、流産や死産をくり返して結果的に子どもを持たないことを不育症と呼ぶ。不育症の治療による妊娠成功率は約7割と高く、早期受診・治療の促進を行うことで少子化対策にも結びつくと考ええる。現在の、国・県、本市の助成制度の状況は。

【市長】現在、不育症に対する国・県、本市の助成制度はない。全国市長会で継続的に要望している。【市長】まだ、国や県の助成制度はないが県内のいくつかの市町村で不育症の助成制度を作っているところもあるので、よく研究したい。

国民健康保険税の負担の軽減を



日本共産党境港市議団
長尾 達也 議員

市長

資産割の廃止は負担の公平性をはかるため

【長尾】提案されている国保条例の改定案は、今でも大変な思いをしている市民に、さらに重い負担を押しつけることにならないか。

【市長】改定は、税負担の公平性をはかるために「資産割」を廃止することにもなうものである。

【長尾】資産割廃止で6割の国保世帯は値上げ、3割近くは5000円以上の値上げとなる。国保税が払えず医者にかかれない市民をつくらないためにも税負担を軽減すべき。

高い目標で健康づくり事業の推進を

市長

目標・取り組みを全庁的に検討する

【長尾】策定に取りかかっている「健康づくり推進計画」で、高い目標を掲げ、



余子公民館での「いきいき百歳体操」

それを実現する行動計画を立て、推進体制をとって進めなければならぬと考えるがどうか。

【市長】「鳥取県健康づくり文化創造プラン」に掲げる各種目標を考慮し、本市の実態に合った目標値を設定し、取り組みを計画に盛り込みたい。計画策定と推進体制については、全庁的な検討と調整をはかる予定である。

免許証の自主返納促進の環境づくりを

市長

制度の周知と拡充に努め促進に取り組む



運転免許証自主返納支援事業

【長尾】運転に不安があり免許証を返上したいが、生活の落差が大きく悩んでいる市民は少なくない。気持ちよく返納できる環境をつくることが重要。「はまるーぶバス」の無料パスやタクシー料金割引などを含む総合的検討が必要と考えるがどうか。

【市長】現在の支援制度について、周知をはかるとともに、支援の拡充に取り組んでいきたい。「はまるーぶバス」の無料パスは、考えていない。

部活動指導員配置について



自民クラブ
築谷 敏雄 議員

教育長

部活動指導員の導入を進めるべきと考える

【築谷】部活動指導員配置について教育長の考えは。

【教育長】本市中学校すべての部活動で、教職員が顧問を担当し、指導しているが、教職員の負担軽減、業務改善の観点から、市としても部活動指導員の導入を進めるべきと考える。県が行う「部活動指導員配置促進事業」を活用するため、今後、学校のニーズを把握し、指導員の身分や任用、勤務形態や報酬を定めた規則の整備を30年度中に進める。

障がい児通所支援についてうかがう

市長

ニーズに応じた支援利用計画を作成し適切な支援を行う



児童発達支援センター「陽なた」

【築谷】障がい児通所支援の利用計画や、相談体制についてうかがう。
【市長】障がいの状況やニーズに応じた障害児支援利用計画により、適切な支援を行っている。相談については、市役所のほか、市内や米子市内の事業者に委託し、5カ所の支援センターで対応している。乳幼児の健診時や保育園などで療育の必要があると感じた児童を「陽なた」につなげ、早期からの支援が行われている。

民間の連絡システム導入について

教育長

システム導入の希望を県教育委員会に伝えた



いじめ相談用アプリケーション

【築谷】いじめ・不登校対策への民間の連絡システム導入についてうかがう。
【教育長】県教育委員会は30年度、SNSを活用して子ども達の心のSOSを学校に通報できるしくみを整備し、県内の3中学校で試験的に導入する予定である。本市では、本システム導入の希望を県教育委員会に伝えた。このシステムを効果的に活用するために、利用方法についても、児童生徒、保護者に周知していきたい。

災害に備えた要支援者への取り組みは



公明党
足田 法行 議員

市長 広範囲にわたって支援の手を差し伸べたい

【足田】災害に備えて、一部の障がい者だけでなく幅広い障がい者の避難訓練を望む声があるが、所見は。

【市長】関係者の皆さんと協議して、障がい者の方々の意向があれば、積極的に対応していきたい。

【足田】災害に備えた支え愛マップ、ヘルプカード台帳を利用した要支援者避難訓練の推進に関する所見は。

【市長】行政や関係者で要支援者名簿作成に対応していると



要支援者の避難訓練

ころだが、今後療育手帳A、身体障害者1級、難病患者を含めた方向で考え、支援の手が差し伸べられるよう広範囲に対応していきたい。ヘルプマーク・カードは、災害時だけでなく、平常時にも積極的に手を差し伸べていくような社会を作るためにも普及、啓発していきたい。

【足田】ヘルプカード、支え愛マップ活動は、雪害対応にも有効に働くので推進をお願いしたい。

フレイル予防の対策について問う

福祉保健
部長

市民が社会参加できるよう努める

【足田】市民への宣伝として市長が率先して、いきいき百歳体操をしている動画を作っては。

【市長】時間があれば、私も体操をやりたい。市民の健康づくり運動が市域全体に広がればいいと思う。議員の方たちに

もリーダーとなって、地域で運動を大いに盛り上げてもらいたい。

【足田】私も参加する。この体操はゆとりと時間をかけることで、筋力を増やし転倒防止になるなどの効果があり、広めたい。フレイルの最初の入り口は「社会参加」の機会の低下であることが明らかである。本市では、

男性は早い時期に介護認定を受けている。退職後にどう社会参加につなげていくか、社会参加の機会の提供や動機づけが大切と思うが、所見は。

【福祉保健部長】本市では男性の社会参加が非常に少ないように感じている。市民が社会参加できるよう努めていきたい。



フレイル（加齢による心身のぜい弱性が出現した状態）予防としてのグランドゴルフ

島根原発に係る安全協定の改定を

市長

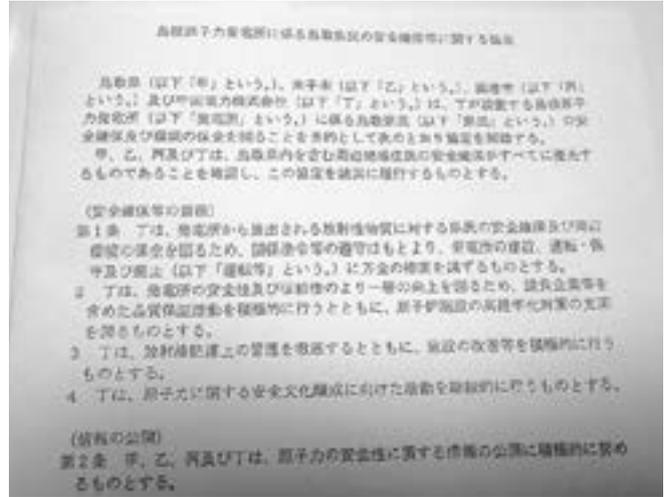
立地自治体と同内容への改定を強く求める



【景山】「島根原子力発電所に係る鳥取県民の安全確保等に関する協定」について立地自治体と同じ「事前了解」の入り

た協定に改定が必要であると改めて強く思うところである。今後の対応についての見解は。

【市長】これまで立地自治体と同内容の協定改定へ機会あるごとに強く申し入れてきた。これまでの改定協議で運用上は立地自治体と同様の対応を行うとの確認をしている。しかし、安全協定の規定では今後の対応に差が出るのではとの懸念も生じてくる。中国電力株式会社に対して、引き続き立地自治体と同内容の安全協定への改定を強く求めていく。



島根原子力発電所に係る鳥取県民の安全確保等に関する協定

有効に利活用できる食料備蓄を

市長

保存食は有効活用しやすい商品に切り替える

【景山】地震による災害などの非常時に備えてさまざまな物資の備蓄が進んでおり、その一環で、非常に重要である食料備蓄が増加している。一部は利活用されてはいるが、賞味

期限切れで廃棄されるものがある。貴重な食料であり、有効に利活用できる備蓄であることが必要である。品目についても、現況に照らしてどのように考えるか見解を。

【市長】備蓄している保存食は、保存期間が満了する年度の早い時期に更新し、有効活用できるように努めている。個々の商品の保存期限が短い場合もあり、また、数量が多いため活用できず廃棄する場合もある。市社協が生活困窮者を対象に行っている「フードエード事業」に保存食を提供することなどを考えると、一食分レトルトパックされた保存食などが有効であり、今後の保存食購入にあたっては有効活用しやすい商品に切り替えていきたい。



備蓄している保存食

除雪通じ 自助・共助の意識醸成を

市長 企業・市民・行政の
協働の取り組みに



公明党
田口 俊介 議員

【田口】地域防災計画上の職員配備など、降雪時の体制を再考する必要があるのではないかと。【防災監】県でも防



雪に埋もれた市の駐車場
市民生活にも影響が

災計画に雪害対策編を作ることになっており、それに合わせて市の計画も見直すこととしている。
【田口】自助・共助について、小型除雪機の活用を強化すると機材の不足が考えられる。年次的に集会所単位で配備しては。

【市長】共助のあり方については、地域が中心となり対応すべきとの意見もあり、その場合は人力・機械が必要。機械はすぐにでも増やせる。人力については、今後、市職員はもとより、市から要請し、企業の皆さんに地域の中心的な戦力として協力してもらうことも考えていく必要がある。これが企業も市民も行政もあげた協働の取り組みになると思う。
【田口】除雪を通して自助・共助の意識醸成のきっかけにしては。



浜田佳尚（部会長）、安田共子（副部会長）、米村一三、築谷敏雄、足田法行

広報部会新設のご挨拶

境港市議会では、これまでの「議会だより編集委員会」と「Facebook運営部会」を一本化して「広報部会」として新たに設置することになりました。このメンバーで2年間活動していきます。よろしくお願ひいたします。

表紙・裏表紙の写真を募集します！

広報部会では、より市民の皆さまと相互に交流できる紙面作りをめざし、議会だより「つなぐ」に掲載する「表紙・裏表紙の写真」を募集しています。写真の応募については、市議会ホームページをご覧ください。議会事務局までお問い合わせください。

【問い合わせ先】 境港市議会事務局

電話：0859-47-1097 FAX 0859-47-1110 メール：gikai@city.sakaiminato.lg.jp

議長あいさつ

この度、第31代境港市議会議長に就任いたしました柗康弘です。

境港市議会では今期より代表質問の質問形態の改正、常任委員会などの継続審査の申し出など議会改革としての取り組みを実施いたしました。また、議会基本条例に基づき「開かれた議会」「見える議会」をいっそう進めるため、市民の皆様の幅広いご意見、ご提言などをうかがいながら市政の諸課題などに真摯に向き合い、引き続き議会改革にも積極的に取り組んでまいります。



【副議長】
平松 謙治



【議長】
柗 康弘

常任委員会・議会運営委員会・特別委員会 委員名簿

委員会名		定数	正副委員長	委員			
常任	総務民教委員会	8	正：森岡 俊夫 副：景山 憲	柗 康弘 浜田 佳尚	岡空 研二 長尾 達也	荒井 秀行 田口 俊介	
	経済厚生委員会	8	正：佐名木知信 副：安田 共子	平松 謙治 永井 章	米村 一三 足田 法行	築谷 敏雄 松本 熙	
	予算委員会	16	正：森岡 俊夫 副：佐名木知信	柗 康弘 岡空 研二 浜田 佳尚 長尾 達也 松本 熙	平松 謙治 荒井 秀行 永井 章 田口 俊介 景山 憲	米村 一三 築谷 敏雄 安田 共子 足田 法行	
議会運営委員会		8	正：田口 俊介 副：浜田 佳尚	米村 一三 佐名木知信	岡空 研二 安田 共子	森岡 俊夫 景山 憲	
特別	災害対策調査特別委員会	8	正：岡空 研二 副：足田 法行	平松 謙治 永井 章	森岡 俊夫 長尾 達也	築谷 敏雄 松本 熙	
	基地・空港港湾問題調査特別委員会	8	正：永井 章 副：荒井 秀行	平松 謙治 安田 共子	米村 一三 足田 法行	佐名木知信 景山 憲	
	議会改革推進特別委員会	8	正：築谷 敏雄 副：米村 一三	柗 康弘 長尾 達也	佐名木知信 田口 俊介	浜田 佳尚 松本 熙	





境漁港の遠望

2013年 撮影：横川 茂 様



水に写る桜

2015年 撮影：竹田 誠司 様

あとがき

さきの境港市議会議員一般選挙は無投票という形で終わりを迎えました。この結果については、さまざまな原因や考え方があると思います。広報部会長の立場から発言をさせてもらえば、市民の皆さんにとって議会がまだまだ遠い存在であるという問題があるのだと思います。これまでも、市民懇談会や議会だよりなどを通して、議会の活動を発信してきました。しかし、より開かれた、身近な議会を目指すためにはさらなる努力・工夫が必要です。市民と議会をつなぐ架け橋として広報部会一同責任を持って取り組んでいきます。

(浜田)

【発行責任者】

議長 柗 康弘

【広報部会】

部会長 浜田 佳尚

副部会長 安田 共子

米村 一三

築谷 敏雄

足田 法行